

## 三鷹市立第四中学校 令和5年度【理】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	<p>○授業の導入部で動画等を活用し、日常生活にかかわる題材を紹介し、興味・関心を高められた。</p> <p>○観察・実験などの協働的な学びの場を設定し、ICTを活用できた。</p> <p>○授業や試験で分からなかったことを、聞く、考える、調べる指導が不十分であった。</p> <p>○観察・実験の振り返りを必ず実施し、さらに深く考え学ぶ意識が高められた。</p> <p>○三鷹市小中一貫カリキュラムを活用し、小学校から中学三年までの既習事項とのつながりを意識して伝えた。</p>	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○興味・関心をもち、意欲的に取り組む生徒が多い。</li> <li>○疑問や理解が難しい内容について、自分で調べたり、まとめたりする力が弱い。</li> <li>○知識の定着に個人差が大きく、二極化している。</li> <li>○振り返りが定型的になってしまう。</li> <li>○概念形成でつまづく生徒が多い。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○科学的な考察の流れや文章や図・グラフ等での表現力を身につける。</li> <li>○個別の習熟度に合った学習では、学習進度を調整する力を身につける。</li> <li>○概念と日常生活との関連性を意識し、概念をイメージできるようにする。</li> </ul>	<p><b>【指導方法の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○結果や考察を共有できる機会を増やす。</li> <li>○単元ごとや観察・実験の際に教科的な振り返りのほか、自己の学習を調整する振り返りの機会をつくる。</li> <li>○三鷹市小中一貫カリキュラムを活用し、小学校の既習事項と中学一年での学習内容とのつながりを意識させる。</li> </ul> <p><b>【授業改善策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎科学的な考察の流れや文章や図・グラフ等での表現の方法を指導する。(学習習慣3)</li> <li>◎実験後や単元のまとめでは、結果や多面的な考え、概念のイメージを共有し合って、理解を深められる機会をつくる。(学習習慣2,3)</li> <li>◎既習事項や日常生活にかかわる題材を提示し、疑問に思ったことを聞く、考える、調べる方法を定着させ、活動の機会をつくる。(学習習慣3,4)</li> <li>◎個別最適な学びを意識した授業展開やメタ認知の振り返りを新たに行う。(学習習慣5,6)</li> </ul>
第2学年	<p>○授業の導入部を工夫し、身近なもの結び付けて考えさせることで、生徒の興味・関心を引き出すことができた。</p> <p>○わからなかったことや疑問に思ったことは必ず調べたり質問したりするのを意識させることで、生徒の学ぶ意欲を高めることができた。</p> <p>○三鷹小中一貫カリキュラムを活用し、小学校から中学三年までの既習事項とのつながりを意識させ、新しい知識と結び付けさせることができた。</p>	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○興味・関心をもち、意欲的に取り組む生徒が多い。</li> <li>○獲得した知識を活用し、自分の言葉でまとめることが苦手な生徒が多い。</li> <li>○知識の定着に個人差があり、二極化している。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えをもつことが苦手な生徒がいる。</li> <li>○既習事項を活用することが苦手な生徒がいる。</li> </ul>	<p><b>【指導方法の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習内容に応じてICT機器を活用しより効果的な指導を行う。</li> <li>○個人で考えさせる機会を増やすとともにより多様な意見に触れる機会を設ける。</li> <li>○見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。</li> </ul> <p><b>【授業改善策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ICT機器を活用して、視覚的にアプローチを行い、理科に関する事象について理解を深める。</li> <li>◎学習計画表を活用し、単元の見通しをもって学習できるようにするとともに、家庭学習の計画にも活用し、学校の学習と家庭の学習を結びつける。</li> <li>◎個人で考え、グループでの話し合いを充実させる課題設定・時間設定を行い、思考力を育てる。(学習習慣2、3)</li> </ul>
第3学年	<p>○自由進度学習を通して、学習の個性化を図ることができた。</p> <p>○「三鷹『学び』のスタンダード」にあるように、授業中に自分の考えを述べたり、他者の発言を集中して聞いたりする場面を設定し、協働的な学びの充実を図ることができた。</p> <p>○三鷹市小中一貫カリキュラムを活用し、既習事項とのつながりを伝え、根拠のある考察につなげることができた。</p>	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○多くの生徒が主体的に授業に取り組むことができています。</li> <li>○基本的な実験技能を習得し、自分たちで実験を進めることができる。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○科学的概念の形成が難しい生徒がいる。</li> <li>○自立的な学びが難しい生徒がいる。</li> </ul>	<p><b>【指導方法の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○個別最適な学びの学習の個性化における選択肢を増やす</li> <li>○理科の概念形成の指導</li> </ul> <p><b>【授業改善策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の認知特性を踏まえた学びの提供により、学習の個性化を充実させる。</li> <li>○ICTを活用した視覚的なアプローチ、協働的な学びの充実を図り、科学的概念の形成を目指す。</li> <li>◎「学習内容の要点」を考えさせ、自立的な学びを促すようにコーチングの充実を図る(三鷹「学び」のスタンダード学習習慣5)。</li> <li>○三鷹市小中一貫カリキュラムを活用し、既習事項とのつながりを伝える。</li> </ul>